

UC 仮想インストール：シリアルポートにインストール ログをダンプする

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は仮想 な Unified Communication (UC) インストールでシリアルポートにインストール ログをダンプするためにプロセスを説明したものです。

問題

インストールをダンプすることはバーチャル UC インストールを、それです Virtual Machine (VM) の仮想 な シリアルポートを使用して必要ログオンします。デフォルトで、シリアルポートは Cisco によって提供される仮想サーバ テンプレート (OVUM ファイル) から展開されるありません。従ってインストール上の問題に動作し時、ログをダンプする必要がある最初に、頻繁にシリアルポート 利用可能なのはケースです。シリアルポートを仮想マシンに追加し、ログをダンプするのにこのプロシージャを使用して下さい。

解決策

VM でシリアルポートにインストール ログをダンプするためにこのプロシージャに従って下さい。

1. VM がオフになるとき、設定を編集し、VM にシリアルポートを追加して下さい。
注: VM が動作する間、ポートを追加できません。
2. 今ファイルにシリアルポートを接続するために必要となります。このファイルとしてあらゆる臨時雇用者またはがらくたファイルへのちょうど付加が、実際にログをダンプするのに使用されていません。
3. VM の電源はインストールを開始し。注: で、Linux ダンプしますシリアルポートに接続した TEMPファイルに何人かの文字化け (エスケープシーケンス 文字) を起動して下さい。
4. 実際にログファイルをダンプして準備ができているときマシン ラン間、VM の設定を編集するときシリアルポートに新しいの、空 ファイル取り付けて下さい。接続されるシリアルポートにファイルを変更するために VM の電源を切る必要がありません。
5. ファイルが保存された後、7 [Zip](#) によってそれを開くことができます。

6. VM で正常なインストールがあった後、電源遮断の VM、設定を編集し、VM からシリアルポートを取除きます。

注: シリアルポート アクティブ (か他のどの不必要で仮想 な ハードウェアも) 残せば、これは VM のパフォーマンスに悪影響を及ぼすことができます。 インストール ログをダンプする統一された CM VM のシリアルポートの他の使用は以外ありません従って新しいインストールをしなければそれを再度必要としません。

関連情報

- [仮想マシンのシリアルポートへのダンプするインストール ログ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)